

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 550517	団塊世代等生きがいづくり等支援事業				主管課名	高齢福祉課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	深谷 幸広				
		施策	みんなで助け合える福祉のまち									
		基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進									
	(1)事業の概要											
	団塊世代等が訪問介護2級課程の受講のために支払った費用の一部を助成することにより、団塊世代等の生きがいづくり及び社会貢献を支援することを目的とする。 ・資格取得費用助成 ・成就労働助成					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						60歳以上の高齢者		人				
						その指標						
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)					訪問介護2級の受講資格を受けた60歳以上の者が受講終了後、受講費用に対する助成をする。さらに資格取得後3月以内に介護関係機関に就職し3月以上就労した場合に助成する。						
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		廃止						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
団塊世代(昭和22年から24年生まれ)の市民					名 称		単 位					
					団塊世代の市民の人数		人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
助成金の申請をする					名 称		単 位					
					助成金の申請をした人数		人					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
安心して住み慣れた地域で生活してもらう					名 称		単 位					
					サービスを利用した高齢者の数		人					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	11,269	11,733								
(6)の対象指標		人	2,282	2,272								
(7)の成果指標		人	1	1								
(8)の結果の成果指標		人	1	1								
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	37	28	0	0	0	0				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	37	28	0	0	0				
人件費 B		千円	222	357	0	0	0					
正職員従事時間×人数		時間×人	60 × 1	95 × 1	×	×	×	×				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円										
トータルコスト A+B+C		千円	259	385	0	0	0	0				
単位あたりコスト		千円/ 人	0	0								
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 550517 団塊世代等生きがいづくり等支援事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成20年4月1日 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  訪問介護2級資格の受講を促進し就労に結び付けることは困難が予想される。他に支援のできる生きがい作り事業を見つけ出すことが課題。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  団塊世代の大量退職が始まり、退職後の生きがい作り、社会貢献、社会参加の支援を目的に、介護職の不足を少しでも解消するきっかけとなること。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している ← 変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市団塊世代等支援事業助成金交付要綱 団塊世代の生きがい作り、社会参加、社会貢献を支援する
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	団塊世代の退職が終了したと考えられる。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	事業実施期間で成果が上がったため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	団塊世代(昭和22年~24年生まれ)の世代は64歳~62歳になり退職後の生きがいづくりは他で各自に合った方法で実施されていることが考えられ、当初の計画通り平成23年度で終了する。					